

## 目標達成計画

作成日: 令和 1年 10月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	夜間のみであっても、4点柵使用は身体拘束にあたる。家族の同意の署名と、解除に向けた取り組みが求められる。	夜間のみであっても、柵をしない代替え方法を家族様を含め、カンファレンスを行うい、早期解除を目標とする。	柵が必要な方の家族様には、説明を行い同意書もいただいている。夜間時の様子を1~2か月間経過観察行い、今後も必要性があるか検討し早期解除に向ける。	3ヶ月
2	26	モニタリング結果がより明確に分かるよう、支援目標に対する評価の記述の仕方等、工夫・検討が望まれる。	計画、ケアの実践に伴った効果的な評価を実践する。	8月からのモニタリングより、サービス計画一つ一つの項目ごとに、評価を行い○×もそれぞれ入れている。	1ヶ月
3	35	地震想定訓練実施が望まれる。また、地域の協力は不可欠なため、デイサービスよの連携の他、地域住民の訓練参加にも期待したい。	地域住民の方にも参加していただき訓練を行う。	・今後はデイサービス合同で避難経路、避難場所を決め年1回は警備会社アルソックにも参加してもらい訓練行う。 ・災害マニュアルを目につく場所に置き、いつでも見られるようにする。	3ヶ月
4	36	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない支援と工夫を期待したい。	プライバシーの侵害をせず、個々のニーズに合わせた配慮を行う。	居室内にいる方の部屋はカーテンをし、フロアにいる方の部屋はドアを閉めている。 トイレ内も中ドアを閉めるのが困難な場合は、外側のドアを閉めプライバシーを保っている。	1ヶ月
5					ヶ月